

日本教育大学協会 全国美術部門 会報 No.50

編集・発行 全国美術部門広報室
代 表 増田金吾 (東京学芸大学)
総務局長 芳賀正之 (静岡大学)
広 報 室 E-mail: daibibumon@uaesj.com (総務局専用)
事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る西大路町
146 番地 中西印刷株式会社 学会部内
TEL: 075-415-3661/FAX: 075-415-3662
E-mail: art-bumon@nacos.com

全国美術部門代表退任のご挨拶

全国美術部門代表 増田 金吾 (東京学芸大学)



全国美術部門の会報 47 号 (2014 年 9 月) では、本部門の目的について触れ、より充実した組織を構築して行きたい旨を述べました。2 年の任期の間、どれだけのことができたかという反省と退任のご挨拶を兼ねて一言述べさせていただきます。

現在、国立大学教員養成系大学・学部は、文部科学省から中期目標・中期計画、ミッションの再定義の実行、並びに質的向上に向けた教員養成と教採試験合格率の保持・増加を求められています。

こうした中で、我々は日本教育大学協会 (以下、教大協) 全国美術部門の果たすべき役割や美術教育 (とりわけ美術科教育) の重要性を語り、本分野が我が国の教育振興に貢献していることを説明しなければなりません。そのためには、先ず美術教育の教育内容を説明する必要があります。この一例として、特別課題検討委員会が担った教科内容学の検討がありました。その具体的な産物として、冊子『うみだす教科の内容学 図工・美術の授業でおきること』が本部門特別課題検討委員会の編著として平成 27 年 3 月に発行され、美術部門及び大学美術教育学会の会員に配布されました。

特別課題検討委員会は、平成年 21 年 3 月から教科内容に関する検討を行ったことに端を発し、教科内容学検討委員会を経て、特別課題検討委員会となりました。そもその始まりは、教科専門の現代的な位置付けを確固たるものとするものであったと記憶しています。

教員養成系大学・学部における教科専門分野は、文部科学政策におけるゼロ免課程の廃止、教職大学院の強化といった路線から見た時、教科教育分

野との協力体制が今まで以上に必要となってくると考えます。

次に、文部科学省等行政への働きかけについて述べます。教大協は文部科学省へいくつもの要望書を提出してきました。また、美術部門も「中学校美術科担当専任教諭の適正配置に関する要望書」を教大協に提出してきました。それらが今までは教大協止まりでしたが、昨年度から文科省へ届いています (教大協『ニュースレター』2014. 11 参照)。今年度は、最新のエビデンスをと考え、昨年全造連と協同で調査したデータを付して「教大協全国研究部門代表者連絡協議会」で教大協会長へ要望書を提出しました。その際行った説明に他の多くの部門が賛同してくれ、教大協として引き続き文科省へ申請していくことが認められました。なお、「美術教育連絡協議会」の一団体として、昨年 6 月に文科大臣や中教審会長等へ向けて、「美術教育の充実に向けての要望書」の提出も行いました。

これらの実効性は明確ではありませんが、行方を注視しつつ、今後もこうした活動は続けて行くべきだと考えます。

以上様々な活動を行って行く上で、役員・各種委員会委員の方たちにお世話になりました。とりわけ、部門運営委員会の方たちには近くで支えて頂きました。

そして、会員の皆様のご支援とご協力を頂き、どうかこの任を終えることができそうです。全国美術部門のますますのご発展を祈りつつ、御礼申し上げます。

平成27年度 役員・各種委員会委員一覧

■代表 増田金吾（東京学芸大学 26-27）

■副代表

（正）福本謹一（兵庫教育大学 26-27）

（副）小野康男（横浜国立大学 27-28）

■特別委員 山口喜雄（宇都宮大学 27）

■総務局

総務局長 芳賀正之（静岡大学 26-27）

部門部長 新野貴則（山梨大学 26-27）

総務局理事

松尾大介（上越教育大学 27）

喜多村徹雄（群馬大学 26-27）

石上城行（埼玉大学 26-27）

畠山智宏（清和大学短期大学部
26-27）

■学会大会運営委員

渡辺邦夫（横浜国立大学 26-27）

阿部宏行（北海道教育大学 27-28）

■監事

大嶋 彰（滋賀大学 27）

岩村伸一（京都教育大学 27-28）

■地区全国委員

I〔北海道〕

佐藤昌彦（北海道教育大学札幌校 26-27）

三橋純子（北海道教育大学岩見沢校 27-28）

〔東北〕

煤孫康二（岩手大学 26-27）

村上タカシ（宮城教育大学 27-28）

II〔関東〕

茂木一司（群馬大学 26-27）

村松俊夫（山梨大学 27-28）

III〔北陸〕

阿部靖子（上越教育大学 26-27）

岡田匡史（信州大学 27-28）

〔東海〕

山本政幸（岐阜大学 26-27）

富山祥瑞（愛知教育大学 27-28）

IV〔近畿〕

世ノ一善生（滋賀大学 26-27）

高木栄一（和歌山大学 27-28）

〔四国〕

金子宜正（高知大学 26-27）

山田芳明（鳴門教育大学 27-28）

V〔中国〕

福田隆真（山口大学 26-27）

一畝田徹（広島大学 27-28）

〔九州〕

佐藤敬助（長崎大学 26-27）

喜久山悟（熊本大学 27-28）

■学校美術教育支援委員会（H27年度）

（略称「学校支援委員会」）

委員長（全国美術部門代表代理・兼務）

山口喜雄（宇都宮大学 26-27）

○附属学校部会

部会長 佐藤昌彦（北海道教育大学 26-27）

副部会長 伊藤文彦（静岡大学 26-27）

委員 片野 一（福島大学 26-27）

委員 遠藤敏明（秋田大学 25-26）

○学校教育支援部会

部会長 天形 健（福島大学 26-27）

副部会長 柳沼宏寿（新潟大学 26-27）

■特別課題検討準備委員会（H27年度3名）

委員長 小澤基弘（埼玉大学 27）

委員 石井壽郎（東京学芸大学 27）

石上城行（埼玉大学 27）

喜多村徹雄（群馬大学 27）

■大学造形教育連絡協議会

<全造連大会開催地区大学及び近隣地区
代表委員>（H27年度8名）

委員長 山口喜雄（宇都宮大学 26-27）

※部門代表代理

副委員長 天形 健（福島大学 26-27）

総務局 新野貴則（山梨大学 27-28）

委員 辻 泰秀（岐阜大学 26-27）

山本政幸（岐阜大学 26-27）

立原慶一（宮城教育大学 27）

虎尾 裕（宮城教育大学 27-28）

村上タカシ（宮城教育大学 27-28）

平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門地区会報告①

◆ 関東地区

日 時：平成27年6月28日（日）

常任委員・代議委員会 13:00～14:00

部総会・協議会 14:00～16:30

懇親会 16:30～18:00

場 所：宇都宮大学 峰キャンパス UU プラザ

出席者：全23名

■ 支部総会

支部長挨拶（宇都宮大学 松島さくら子）

1 前年度議事録確認

2 支部長報告

①平成26年度全国美術部門役員状況報告

②平成26年度全国美術部門協議役員会報告

→平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画提案がなされ承認された。

③平成26年度大学美術教育学会拡大理事会報告

→平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画提案がなされ承認された。

3 各大学近況報告

4 平成26年度関東支部会会計決算報告

→会計担当の茨城大学から報告された。

5 平成26年度関東支部会会計監査報告

→監査担当の千葉大学から報告があり承認された。

6 平成27～28年度全国美術部門地区全国委員選出

→26～27年度担当 茂木一司（群馬大学）

27～28年度担当 村松俊夫（山梨大学）に決定。

7 平成27～28年度大学美術教育学会地区全国理事選出

→26～27年度担当 茂木一司（群馬大学）

27～28年度担当 村松俊夫（山梨大学）に決定。

8 平成28年度支部会研究協議会の開催について

→担当 群馬大学

9 第54回大学美術教育学会「横浜大会」について

→会場大学である横浜国立大学から趣旨、概要説明がなされた。

10 その他

■ 研究協議会

「学部改組・大学院改革が進む中、美術教育の現状と今後の対応」を共通テーマとして、各大学から報告・提案があった。

① 承合事項

- ・ 教員数について
- ・ 教員採用状況について
- ・ 学部・大学院募集、入試方法等について
- ・ 授業（卒論・制作）等に関する点について
- ・ 教職大学院について
- ・ 大学のグローバル展開に関して
- ・ 運営交付金の在り方の変更に伴う予算状況について
- ・ 高大接続についての拡大の対応状況について
- ・ クォータ制の導入状況について

② 協議事項

- ・ 平成27年度大学美術教育学会横浜大会について
- ・ 美術部門特別課題検討委員会報告書「うみだす教科の内容学」について

③ 確認事項

（群馬大学 林 耕史）

◆東海地区

日時：2015年7月12日（日）10時～16時
 場所：三重県総合博物館 2階会議室
 出席：（静岡大学）白井嘉尚、大宮康男、川原崎知洋、高橋智子（愛知教育大学）磯部洋司、松本昭彦、樋口一成、永江智尚、杉林英彦、竹井 史、鷹巢 純、富山邦夫（岐阜大学）谷 誉志雄、辻 泰秀、河西栄二、山本政幸（三重大学）山田康彦、山口泰弘、上山 浩、岡田博明、奥田真澄、関 俊一

○ 議題

1. 平成27年度 部門・学会地区委員について
2. 次年度開催地について
3. 志願者数の動向（入試情報）に関する意見交換
4. 図工・美術の今後の動向に関する情報交換（学指導要領改訂に伴う新たな動向について）
5. 教員養成大学・学部今後のありかた

○ 報告

1. アート&マネジメントコースの設置について（静岡大学）
2. 全国美術部門より

本年度の東海地区会は2014年4月にリニューアルオープンした三重県総合博物館で開かれ、静岡、愛知教育、岐阜、三重の4大学から22名が参加した。自己紹介と地区委員選出の後、5つの議題に沿って協議が進められた。とくに志願者数・教員採用試験合格者数の動向、入試・組織改革の状況、改組の現状と見込みの3点に関してかなりの時間が割かれた。高校との綿密な連絡や広報活動による志願者の変化、各県の教員採用における他大学との競合関係、センター試験と前・後期試験の比重および実技検査の内容等について、大学間の違いを確認しながら有意義な意見交換が行われた。また昨今話題になっている組織改編について、教職大学院設置の状況と、新課程に美術の分野を置いている静岡大と愛知教育大の今後の計画等が報告された。

（岐阜大学 山本政幸）

平成27年度 委員会活動報告

■学校美術教育支援委員会報告 2015

平成26(2014)年度に再編新設した全国学校美術教育支援委員会「略称、学校支援委員会」は、委員長の山口喜雄(宇都宮大)が二部会他を統括して各役員と共に様々な活動を行いました。

(1) 附属学校部会 佐藤昌彦部会長(北海道教育大)、伊藤文彦副部会長(静岡大)、片野一(福島大)・遠藤敏明(秋田大) 両部員など全国国立大学附属学校連盟(全附連)美術部門の現職校長や経験者で構成、全国大会や北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州の当該地区大会への対応・交流・助言を行いました。

(2) 学校教育支援部会 天形健部会長(福島大)と柳沼宏寿副部会長(新潟大)が担当、全国造形教育連盟大会(全造連)、北海道・東・関東甲信越静(関ブロ)・中国・四国・九州など当該ブロック造形教育大会、地域の造形教育大会で助言者として支援を行いました。平成27(2015)年度は大会テーマ「ひとりひとりに『つくる喜び』を」を掲げた全造連岐阜大会へ11月12・13日に天形部会長と筆者山口ほか多数の部門会員が助言者になりました。全造連岐阜大会では辻泰秀会長(岐阜大)、ならびに11月19日の関ブロ栃木大会では田中士計男委員長の配慮で、レセプションにて全国美術部門代表代理として山口が来賓挨拶を行いました。その中で全国美術部門の会員諸氏と共に幼保小中高での美術教育を教員養成や学術研究で協働していくとの抱負、久保貞次郎や北川民次らの先達が「児童の個性の伸長こそ新しい教育の目標だ」とする1952年の《創造美術協会宣言》で強調された美術教育を支える心理学との結合の重要性を語りました。前後しますが、7月18日に横浜で開催の造形教育を盛りあげる会に山口が助言者として参加、10月6日の東北造形教育研究大会福島大会でも天形部会長が支援を行い、平成28年度全造連宮城大会の佐々木晃会長に支援内容の問い合わせも行い次年度に備えています。

(3) 全造連大学・美術館部会 全造連岐阜大会で磯部錦司部長(相山女子学園大)と事務局長の山口が私立・国公立大学教員と美術館学芸員ら約40名との研究交流を和やかに行いました。

(4) 大学造形教育連絡協議会 全造連大会開催地区大学と近隣地区委員8名からなり、委員長は山口、天形副委員長、委員は新野貴則(山梨大)、辻泰秀・山本政幸(岐阜大)、立原慶一・虎尾裕・村上タカシ(宮城教育大)の各氏が必要に応じて活動しました。〔敬称略、文責：山口喜雄〕

平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会報告①

日時：平成28年3月6日（日）15：45～17：30

会場：アットビジネス東京駅 305号室

出席者：

増田代表・理事長、小野副代表(副)、新関副理事長(正)、竹井副理事長(副)・学会誌委員会委員長、芳賀総務局長、新野部門部長、松尾総務局理事、石上総務局理事、喜多村総務局理事、畠山総務局理事、渡辺学会大会運営委員、阿部学会大会運営委員、佐藤地区全国委員、三橋地区全国委員、煤孫地区全国委員、村松地区全国委員、阿部地区全国委員、岡田地区全国委員、富山地区全国委員、高木地区全国委員、金子地区全国委員、一畷田地区全国委員、佐藤地区全国委員、喜久山地区全国委員、小澤特別課題検討準備委員会委員長、鈴木国際交流委員会副委員長

I. 挨拶

議事に先立ち、先ず小野副代表より開会の辞がなされ、次いで増田代表より挨拶がなされた。

II. 報告・協議

※学会副理事長及び各種委員長は、部門協議役員会に参席し、部門関係の協議に立ち会った。

〈報告事項〉

- 1 平成27年度大学美術教育学会事業報告
芳賀総務局長から、配布資料をもとに平成27年度事業報告(案)について説明がなされた。
- 2 全国学校美術教育支援委員会
芳賀総務局長と佐藤委員より、全国学校美術教育支援委員会の活動について配布資料をもとに報告がなされた。
- 3 特別課題検討準備委員会
小澤委員長より、委員会の活動について報告がなされた。そして今後の活動については、部門代表に一任したい旨の意向が示された。
- 4 日本教育大学協会全国美術部門の組織及び会員について
増田代表より、配布資料をもとに全国美術部門の組織及び会員の構成を周知する文書について説明がなされた。

〈協議事項〉

- 1 平成28年度役員・委員会
芳賀総務局長より、平成28年度の役員・各種委員会委員(案)について配布資料をもとに説明がなされた。併せて、地区全国委員に6月中の次期地区全国委員の選出が依頼された。
 - 2 全国美術部門規定について【共通】
学会拡大理事会において共通に協議された。
 - 3 平成28年全国美術部門事業計画(案)
芳賀総務局長より、平成28年度全国美術部門事業計画(案)について、配布資料をもとに説明がなされた。
新野部門部長より、11月10、11日に行われる全国造形教育研究大会宮城大会について案内がなされた。
- ## III. その他
- 1 総務部・事務部より
 - (1) 会員名簿について
新野部門部長より、会員名簿の発行について説明がなされた。また、名簿に掲載される各地区の規程の見直しについて地区会で検討するよう、地区全国委員に依頼された。そして、規程を見直す際の参考として、規程のひな形を地区全国委員に送付する旨の報告がなされた。
芳賀総務局長より、会員の登録状況について報告があり、会費未納者への対応について説明がなされた。
各地区の会費及び支部の会費およびそれらにかかる運営方法について、質問があった。そして、各地区会の規程に従って対応するよう回答がなされた。
 - (2) 入退会確認書について
新野部門部長より、入退会確認書について配布資料をもとに説明がなされた。
 - (3) 中学校美術科教員実態調査について
新野部門部長より、全造連の都道府県事務局担当に依頼した中学校美術科教員実態調査について配布資料をもとに報告され、調査した数値の扱いと今後の活用方法について説明がなされた。
増田代表より、本年1月29日に開催された教大協の平成27年度全国研究部門代表者連絡協議会で本調査を要望書(中学校美術科担

当専任教諭の適正配置に関する要望書)に資料として付し、この要望が今回も教大協から文科省へ提出されることとなった旨の報告がなされた。そして、今後も文科省に要望する際の資料として活用していきたい意向が示された。

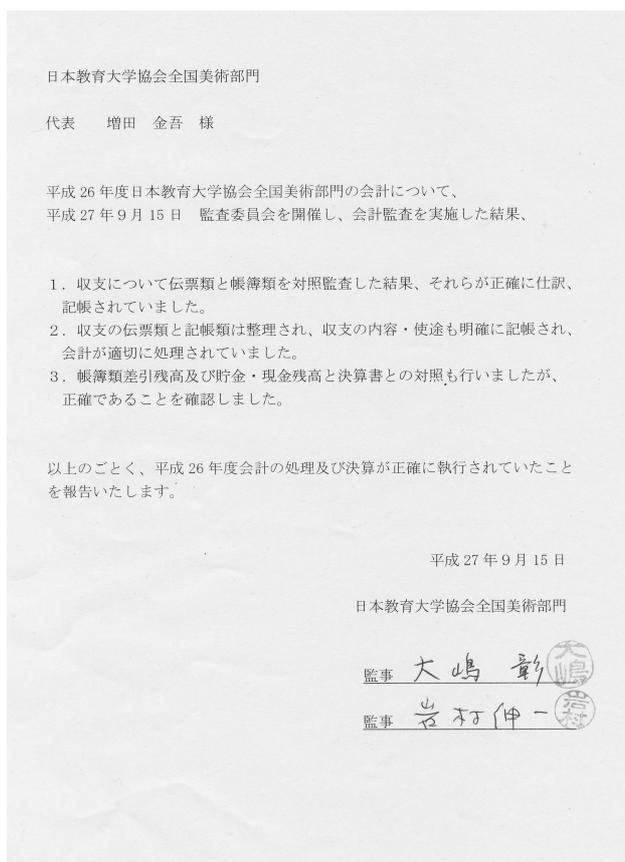
昨年までの調査の経緯について質問があり、国や県で実態を集約していない現状を鑑み、教員を養成する大学が責任をもって各県の数値を把握していく必要性が指摘された。

IV. 挨拶

増田代表より、2年間の任期における協力についてお礼が述べられた。

新関学会副理事長より閉会の辞がなされた。

(記録：松尾大介／上越教育大学)



増田代表挨拶



平成27年度 第2回全国美術部門協議会

日本教育大学協会全国美術部門 平成 26 年度決算②

□収入

	費 目	平成 26 年度予算	平成 26 年度決算	備 考
	前年度繰越金	1,482,231	1,489,072	6,841 円の追加金
年会費	会費納入（収入）	960,000	672,000	会費納入：224 名
	会費未納		(294,000)	会費未納：98 名
助成金	教大協助成金	80,000	80,000	
	合 計	2,522,231	2,241,072	

※平成 26 年度 全国美術部門の会員数 322 名

■支出

	費 目	平成 26 年度予算	平成 26 年度決算	備 考
補助金	全国協議会補助金	200,000	200,000	
印刷製本費	会報刊行費（発送費込み）	100,000	104,641	
	名簿刊行費（発送費込み）	0	0	平成 27 年度作成予定
	委員会報告書（発送費込み）	200,000	507,060	
	封筒その他印刷	30,000	-	
運営費	運営委員会・部門役員会費	-	916,654	
	特別課題検討委員会費	200,000	59,900	
	学校支援委員会費	-	-	平成 26 年度発足
事務経費	支払手数料	5,000	1,420	
	通信費	5,000	2,640	
	郵送費	10,000	-	
	事務費	5,000	33,176	
	雑費	5,000	10,295	
委託費	事務部業務委託費	50,000	-	
	事務支局業務委託費	-	97,200	
	ホームページ制作費	-	-	
	会員 P.W/委託移行作業	-	233,372	
負担金	全造連負担金	4,000	4,000	年会費
予備費	予備費	1,708,231	70,714	
	合 計	2,522,231	2,241,072	

※会員 P.W/委託移行作業（233,372）、アウトソーシングに伴う初年度の必要経費である。

※部門の運営費は、学会とともに合わせて予備費等から用いる。

※部門のホームページ制作費（453,600 円）は、学会の支出としてある。

平成27年度 事業報告

6月上旬	「部門会報・第48号/横浜大会案内」 発行・郵送
6月8日(月)	H27 論文集『日本教育大学協会研究年報』査読候補者推薦
6月21日(日)	第1回運営委員会(東京/TKP スター 貸会議室)
9月1日(火)	横浜大会参加申込 締切
9月上旬	「横浜大会案内(最終)」 平成26年度会計監査 (大嶋監事・岩村監事)
9月11日(日)	第2回運営委員会(東京/TKP スター 貸会議室)
9月19日(土)	大会前日諸会議: 拡大総務局会、第1 回全国美術部門役員会、各種委員会 (学校支援委員会、特別課題検討準備 委員会)、全造連大学委員会(全美協 との合同協議)
9月20日(日)	第54回大学美術教育学会「横浜大会」
9月21日(月)	部門・学会合同開催式(横浜国立大 学)、部門協議会、総会、部門・学会 合同懇親会、シンポジウム、ポスター 発表・ポスター展示、研究発表(口頭)、 閉会式、大会開催大学引継ぎ(次期開 催大学-北海道教育大学)
10月下旬	「部門会報・第49号」発行・郵送
11月12日(木) ~13日(金)	第67回全国造形教育研究大会 2015/ 岐阜大会
12月1日(火)	日本教育大学協会への事業実績報告 (H27.4-12 事業分)
(平成28年)	
1月22日(金)	日本教育大学協会全国研究部門連絡 協議会(東京学芸大学本部)
1月24日(日)	部門運営委員会(アットビジネスセン ター東京駅)
3月6日(日)	拡大総務局会・第2回拡大理事会(役 員・委員長出席)・第2回全国美術部 門役員会、各種委員会(学校支援委員 会、特別課題検討準備委員会)(アッ トビジネスセンター東京駅) 次年度 組織・運営に関する執行部・ 各役員の引き継ぎ
3月末日	「部門会報・第50号(次期大会予告)」 発行・郵送
4月1日(金)	日本教育大学協会への事業報告 (H27.12-H28.3 事業分)

平成28年度 事業計画

5月下旬	「部門会報・第51号/北海道大会案 内」発行・郵送
6月	H28 論文集『日本教育大学協会研究年 報』査読候補者推薦
6月	第1回運営委員会(場所 未定)
9月上旬	平成27年度会計監査
9月1日(木)	北海道大会参加申込 締切
9月上旬	「北海道大会案内(最終)」
9月	第2回運営委員会(場所 未定)
9月23日(金)	大会前日諸会議: 拡大総務局会、第1 回全国美術部門役員会、学校支援委員 会、全造連大学委員会(全美協との合 同協議)
9月24日(土)	第55回大学美術教育学会「北海道大 会」
9月25日(月)	部門・学会合同開催式(北海道教育大 学)、部門協議会、総会、部門・学会 合同懇親会、シンポジウム、ポスター 発表、研究発表(口頭)、閉会式、大 会開催大学引継ぎ(次期開催大学-北 海道教育大学)
11月10日(木) ~11日(金)	第69回全国造形教育研究大会 2016/ 宮城大会
12月1日(木)	日本教育大学協会への事業実績報告 (H28.4-12 事業分)
(平成29年)	
1月	日本教育大学協会全国研究部門連絡 協議会(東京学芸大学本部) 部門運営委員会(場所 未定)
3月上旬	拡大総務局会・第2回拡大理事会(役 員・委員長出席)・第2回全国美術部 門役員会、学校支援委員会(場所 未 定) 次年度 組織・運営に関する執行部・ 各役員の引き継ぎ
3月末日	「部門会報・第52号(次期大会予告)」 発行・郵送
4月	日本教育大学協会への事業報告 (H28.12-H29.3 事業分)

平成28年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会

第55回 大学美術教育学会 「北海道大会」(ご案内)

大会テーマ 「美術と教育における地域の多様性」

◇内容 研究発表・シンポジウム・総会・諸会議・懇親会など

◇日時

平成28年9月24日(土) 受付開始予定9:00

9月25日(日) 受付開始予定9:30

※役員会・各種委員会

前日23日(金) 受付開始予定12:30

(札幌駅前サテライト4F予定)

◇会場 北海道教育大学 札幌校

〒002-8502 札幌市北区あいの里5条3丁目

・札幌市内中心部から公共交通機関で50分ほどかかりますので、開始時刻にご注意願います。

◇申込方法

*6月1日から e-naf+ (オンライン大会登録受付システム)による参加申し込み(研究発表等を含む)を予定しています。

*詳細は後日お知らせします。

*大会参加は当日受付でも可能です。

◇参加費

会員・一般 4000円(事前申込)

5000円(当日)

院生・学生 2000円(事前申込)

3000円(当日)

※院生には現職教員も含む

懇親会 5000円

サッポロビール園



【注意事項】

※宿泊斡旋は行いません。この時期大変込み合いますので各自で早めに確保願います。

※1日目の研究発表後の懇親会場への移動は各自でお願いします。

※5月に1次案内を送付する予定です。

【問合せ】

※大学美術教育学会北海道大会準備委員会
事務局長 阿部 宏行(岩見沢校)

<abe.hiroyuki@i.hokkyodai.ac.jp>

会場(札幌校)までの公共交通機関図



●JR

学園都市線「あいの里教育大駅」下車、徒歩20分

●地下鉄・バス

南北線「麻生駅」より中央バス麻24・あいの里教育大線
または東豊線「栄町駅」より中央バス栄20・栄23・栄町教育大線、「教育大前」下車、徒歩2分

全国美術部門の会費請求・納入に関するお願い

平成 26 年度の業務委託に伴い、事務部で管理していた会員データを事務支局（中西印刷）に移しました。まだ、一部、未整理のところもあるため、ご迷惑をおかけした方もおりますが、会費請求において不明な点をご連絡ください。

会員管理・会費関連に関するお問い合わせ：
大学美術教育学会事務支局
（中西印刷株式会社内）
Tel: 075-415-3661 E-mail: uaesj@nacos.com

事務部廃止に伴う総務局専用のメールアドレス

日本教育大学協会全国美術部門並びに大学美術教育学会において、平成 20 年度以降、一大学の事務局運営から全国各地の大学教員による総務局体制で運営を変更しましたが、それと同時に事務部を設け、様々な事務仕事を民間の方に委託してきました。しかし、効率的で持続可能な運営をめざし、平成 26 年度、アウトソーシング（中西印刷に業務委託）に踏み切りました。その過程で事務部を廃止しつつ、事務体制の運営を見直しているところです。

総務局専用のメールアドレスは以下の通りです。

総務局専用メールアドレス
E-mail: daibibumon@uaesj.com

大学美術教育学会並びに全国美術部門の活動について、主に総務局長、学会部長、部門部長の 3 名により、このメールへの問い合わせに対応いたします。

事務支局のメールアドレス（E-mail: uaesj@nacos.com）とは異なりますのでご注意ください。

中学校美術科教員実態調査について

平成 27 年 9 月から 11 月にかけて、中学校美術科教員実態調査を実施しました。

この調査は、中学校の美術科の専任教諭や非常勤講師の中学校への配属状況等について把握することで、今後の美術科教育の振興に資することを目的としています。平成 26 年 3 月に全国大学造形美術教育教員養成協議会と日本教育大学協会（以下、教大協）全国美術部門とで組織された大学造形教育連絡協議会の事業の一環として、全国造形教育連盟大学部会において実施することが決定しました。

全国造形教育連盟に所属する各都道府県の 47 の事務局を対象に質問紙調査を行い、27 の事務局から回答を得ました（回収率 約 57%）。調査項目は以下の 6 項目です。

1. 公立学校数、2. 美術科専任教諭配置校数、3. 臨時的任用教員対応校数、4. 非常勤教員・講師対応校数、5. 免許外教員で対応校数、6. 複数校兼務担当教員数

美術科の専任教諭を配置している学校は約 64%、配置していない学校は 36%あること、非常勤教員・講師で対応している学校や免許外教員で対応している学校の数は都道府県によって大きな差があることなどが本調査を通して明らかになりました。

この結果は、平成 27 年度教大協全国研究部門代表者連絡協議会を通して、教大協会長へ「中学校美術科担当専任教諭の適正配置に関する要望書」として提出されました。今後、教大協で整理したものが文部科学省へ提出されることとなっています。

また、本調査は、信頼性・有用性の向上を目指して調査方法や調査時期などを改善しながら、継続的に実施していく予定です。今後とも、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月 31 日
日本教育大学協会全国美術部門代表 増田金吾
同 総務局部門部長 新野貴則

【総務局広報室】

芳賀正之（静岡大学）
佐藤賢司（大阪教育大学）
新野貴則（山梨大学）
喜多村徹雄（群馬大学）

